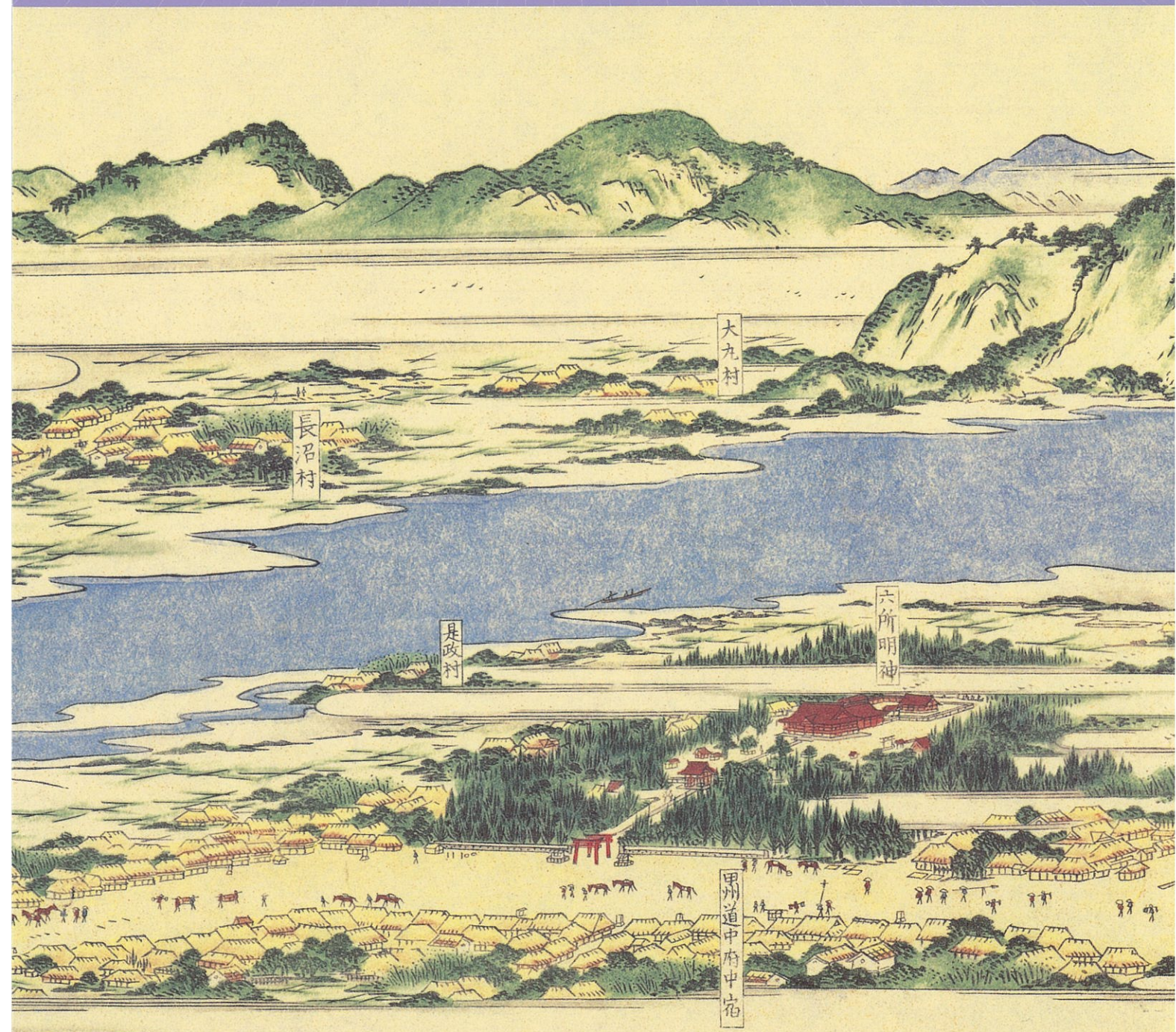


地域の歴史を学ぶ

—「多摩の歴史講座」10年の記録—



地域の歴史を学ぶ

—「多摩の歴史講座」10年の記録—

ごあいさつ

(財)たましん地域文化財団と(財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業ではじまった「多摩の歴史講座」も平成18年度で10年目という節目の時を迎え、これを記念して、『地域の歴史を学ぶ―「多摩の歴史講座」10年の記録―』を発刊する運びとなりました。

この間、多摩地域の400万人を超える市民の皆様をはじめ、各市町村、関係者の皆様には、多摩交流センターの運営に格別のご理解とご協力を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

多摩交流センターは、平成6年7月に多摩地域32市町村(当時)の総意により開設されて以来、多摩地域における市民の交流活動や広域的市民ネットワーク活動の推進を図るために様々な支援をしてまいりました。これにより多くの広域的市民団体が育ち、事業を拡大してこられたことと確信しております。

この歴史講座は、歴史と文化の宝庫でもあります多摩地域を多くの方々に知っていただきたく、毎年度開講してまいりました。開講数は延べ52回、講師数42名、受講者定数760名に達し、テーマは、古代から近代にわたり伝統芸能、史跡、くらし、自然等幅広く多摩の歴史を取り上げてきました。

この10周年を新たな契機といたしまして、「歴史講座」に参加された受講者の皆様やこの記念誌をご覧になった方々が、多摩地域に愛着と少しでも身近な地域の歴史に関心をもっていただければ幸いです。

また、今後ますます充実発展するような講座企画等に努力してまいりますので、これを機会にできるだけ多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

皆様には、これまで以上のご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

(財)東京市町村自治調査会

理事長 尾 又 正 則

ごあいさつ

(財)東京市町村自治調査会多摩交流センターと(財)たましん地域文化財団は、平成9年度より「多摩の歴史講座」を毎年開講してきて、平成18年度で10年目を迎えました。そこで10周年を記念して本誌『地域の歴史を学ぶ―「多摩の歴史講座」10年の記録―』を刊行いたします。講師になっていただいた先生方、受講いただいた方々、多摩交流センターの皆様、あらためて心より感謝と御礼を申し上げます。

本講座では、代官、寺院、説経節、国府、城跡、参詣、日記、地誌、鉄道、玉川上水など、多摩の歴史を知るための手がかりとなるテーマを取り上げています。古代より豊かな歴史に育まれた多摩地域は取り上げるべきテーマも数多く、各分野の研究も日々進んでいます。講師の先生方には、最新の研究内容を出来るだけ分かりやすくお話いただくようお願いいたしました。毎回たくさんの方々にご応募いただき、講座の最後まで熱心に出席いただいた受講者をまえに、講義内容も充実したものとなりました。またテーマによっては、現地見学会や観劇会を開いて理解を深めております。

(財)たましん地域文化財団は、多摩信用金庫を母体として平成3年に設立されました。当財団では歴史や美術分野の講座をはじめ、『多摩のあゆみ』の発行、歴史資料室、たましん歴史・美術館、たましん御岳美術館、たましんギャラリーなどを運営しております。今後とも多摩地域の文化に貢献できるよう微力をつくしてまいりますので、皆様のますますのお力添えを賜りたく、心よりお願い申し上げます。

(財)たましん地域文化財団

理事長 中 嶋 榮 治

目次

ごあいさつ

(財) 東京市町村自治調査会理事長 尾又正則

(財) たましん地域文化財団理事長 中嶋榮治

本書について..... 6

第1回「多摩の代官を語る」(平成9年)..... 7

- 第1講 江戸時代の代官像—大久保長安と八王子・府中代官たち
- 第2講 多摩を治めた代官—高室代官と有力農民—
- 第3講 多摩が生んだ名代官—田中休愚と川崎平右衛門—
- 第4講 開国と代官—江川太郎左衛門と松村忠四郎—
- 第5講 幕末維新の代官と豪農—多摩の近代への道—

第2回「多摩の寺院を学ぶ」(平成10年)..... 17

- 第1講 多摩の寺院と地域文化
- 第2講 三田氏と禅寺—海禅寺・天寧寺—
- 第3講 庶民信仰と地域文化—薬王院・大悲願寺—
- 第4講 見学会：寺院と文化財—高幡不動尊—
- 第5講 街道と寺院—高安寺・深大寺—
- 第6講 戦国社会と禅僧—宗関寺・高乗寺・広徳寺—

第3回「伝統芸能にふれる—説経節・人形芝居・写し絵—」(平成11年)..... 25

- 第1講 説経節とは何か？
- 第2講 説経節をめぐる諸芸—人形芝居・写し絵—
- 第3講 平成玉川文楽復活披露公演 写し絵観劇会(新国立劇場)
- 第4講 説経節〈五説経を中心に〉の物語
- 第5講 多摩地域の説経節
- 第6講 説経節のいま・これから

第4回「武蔵国の古代を知る—国府・国分寺・東山道武蔵路—」(平成12年)..... 35

- 第1講 国府・国分寺・東山道武蔵路とは？
- 第2講 古代の武蔵国府にふれる
- 第3講 東山道武蔵路と官道
- 第4講 大規模な信仰の中心・武蔵国分寺
- 第5講 見学会：武蔵国分寺・東山道武蔵路を歩く

第5回「多摩戦国時代の城を学ぶ」(平成13年)..... 45

- 第1講 多摩の戦国時代概観
- 第2講 三田氏を考える—多摩川上流域の中世的景観—
- 第3講 大石氏、後北条氏の城
- 第4講 出土遺物から考える後北条氏のくらし
- 第5講 バス見学会：戦国期多摩の古城を歩く

第6回「江戸近郊の山々を学ぶ—参詣と遊山—」(平成14年) 55

- 第1講 江戸後期、庶民の山岳信仰と遊山
- 第2講 御岳山—御神宝とオイヌサマと太占—
- 第3講 見学会：御岳山・武蔵御嶽神社・山頂御師集落
- 第4講 高尾山—護摩札配札と代参講にみる人々のきずな—
- 第5講 相州大山—雨乞い、豊漁、商売繁盛の山—

第7回「日記にみる人々の暮らし—幕末維新の動乱を背景に—」(平成15年) ... 65

- 第1講 「里正日誌」からみた村の幕末維新
- 第2講 筏商いと集落生活の細密画・儀三郎日記
- 第3講 公私日記にみる幕末期の柴崎村と女性
- 第4講 富沢家日記にみる多摩の村人の動向
- 第5講 天然理心流と新選組—小島日記にみる情報ネットワーク—

第8回「近世地誌にみる多摩の地域像」(平成16年)..... 73

- 第1講 江戸の文人が記した多摩の歴史と名所
- 第2講 名所図会のなかの古代・中世—多摩の基層文化を探る—
- 第3講 相沢五流・伴主の地誌編纂—関戸旧記と調布玉川惣畫圖—
- 第4講 創られた伝統—塩野適斎と『桑都日記』—
- 第5講 明治維新と近世地誌のゆくえ—"19世紀日本の地誌編纂史"という観点から—

第9回「産業考古学からみる多摩の鉄道」(平成17年)..... 83

- 第1講 鉄道における近代化遺産
- 第2講 八王子をめぐる電鉄の盛衰とその遺産—武蔵中央電気鉄道、京王御陵線、南津電気鉄道—
- 第3講 駅・駅舎にみる技術、文化、社会
- 第4講 見学会：青梅線の歴史と構造物
- 第5講 古レールの話

第10回「玉川上水の歴史と自然を学ぶ」(平成18年)..... 93

- 第1講 玉川上水 歴史と技術—常識への疑問—
- 第2講 玉川上水の桜 その景観変遷—名所から名勝そして史跡へ—
- 第3講 見学会：玉川上水の現状を訪ねて
- 第4講 羽村発～新田経由～大木戸行—玉川上水で結ばれた村と都市—
- 第5講 パネルディスカッション「玉川上水の明日を考える」

出席者数・アンケートのまとめ 101

本書について

* 本書『地域の歴史を学ぶ―「多摩の歴史講座」10年の記録―』は、「多摩の歴史講座」第1回（平成9年・1997）～第10回（平成18年・2006）までの各講座の資料、録音・録画記録をもとにたましん地域文化財団歴史資料室と東京市町村自治調査会多摩交流センターが編集した。

* 講師の方々の肩書きは、講座当時のものである（囲み記事の肩書きを除く）。

* 下記9人の方々から、お願いした講座テーマに関する後の研究状況について、ご寄稿いただいた。それぞれの講座の直後に掲載した（下記は50音順）。

大野 一郎氏（第6回第5講）

小島 政孝氏（第7回第5講）

坂詰 秀一氏（第4回第1講）

白井 哲哉氏（第8回第5講）

鈴木 章生氏（第8回第1講）

戸井 晴夫氏（第5回第4講）

福田 信夫氏（第4回第4講）

村上 直氏（第1回第1講、第2回第1講）

山形 文雄氏（第3回第3講）